

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第99号

nanae historical  
museum collection

## ななえ古写真物語

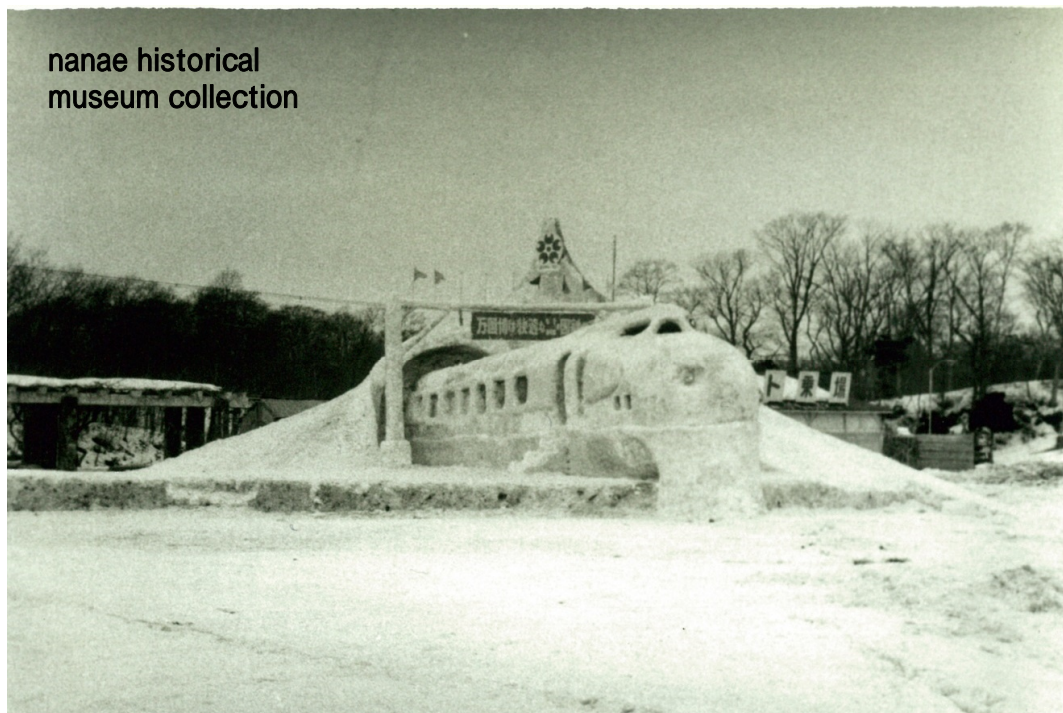
VOL. 99

### 宿願の新幹線

大沼雪まつりより

昭和45年

大沼国定公園



北海道新幹線が3月26日に開業することをうけ、道南のいたる所に設置されているカウントダウンの掲示では、いよいよ一桁数字となり、その日を心待ちにしているようです。東京まで4時間ほど、時間と距離の短縮が便利をもたらす一方で、なにか大切なものを見過ごしていないかと思ってしまうのは、ある種の職業病なのかもしれません。

七飯町には新幹線の車両基地が設置され、今のところ終着駅となる「新函館北斗駅」も、町境に近いこともあり、新幹線が開通することで人口の増加や観光への期待をしている人も多いように感じます。

七飯町に初めて鉄路が敷かれたのは今から110年以上前となる明治36年。それは、函樽鉄道の開通によるものです。この時、現在の国道5号に並列するように北上する計画だった鉄路を迂回させ、大沼公園駅を經由するルートへ変更させたのが、当時大沼の開墾に尽力していた宇喜多秀夫をはじめとする有志たちだった。鉄道会社へ陳情書をあげ、その熱意を伝えるなどして、はじめてルート迂回は実現しました。おそらく、こういった行動がなければ、今の大沼国定公園の賑いは無かったでしょう。

話は変わりますが、当館で面白い写真を入手した。それが上の写真で、昭和45年3月1日に撮影された大沼での雪まつりの光景である。お気づきとは思いますが、トンネルから走り出てくる新幹線の雪像が作られ、その上部の横幕には「万国博は・・・」の文字が読み取れます。

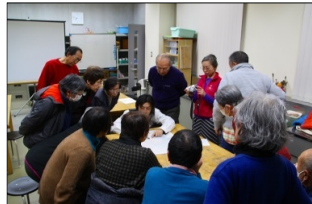
この年の3月14日から開催が始まった「日本万国博覧会（大阪万博）」を目前に作られた雪像なのでしょう。しかも、万博のテーマは「人類の進歩と調和」ですから、未だに北海道に新幹線が開通することが夢のようだった時代、この雪像を作ったのは、なんらかの意味を感じます。とくに、青函トンネルは当初から、新幹線が通ることを想定して掘られていて、技術の展覧会ともいえる万国博を前に、北海道に新幹線を！という思いもあって、この雪像が作られたのかもしれない。（あくまで、想像ですが）

この写真が撮影されてから46年過ぎた今年、宿願ともいえる北海道新幹線が開業します。歴史を振り返ると、何かを望む時や変えたいと願う時、必ずそこには何らかの行動がありました。さて、七飯町はどうなのでしょう？

## 3日

夜の博物館第3夜を開催しました。今回は、峠下地区の歴史について、村の草創・信仰・史跡など、スライドや絵図・古地図を使いながら説明しました。

特に、当町指定文化財の「峠下村絵図」は、江戸末期の峠下村の土地利用や、石碑などが記されているため、参加者も興味があったようで、箱館戦争勃発の地であることや、それに関連する台場や土塁が現在も残されているという説明をうけると、雪がとけたら是非行ってみたいとの声が聞こえました。



## 27日

ジュニア探検クラブでは、じゅんさい沼で、ワカサギ釣りに挑戦しました。

まずは、釣り方のレクチャーを受け、自分たちで実際に釣るのですが、中にはエサとなる虫に「気持ち悪い!」「ムリ無理、触れない!」という子も(特に男子)、結局ほかの人にエサをつけてもらうなどして、釣りに参加していました。

全員が釣れたわけではなかったけど、釣ったワカサギはから揚げにしてみんなで分け合いました。午後からは、自然監視員の金澤氏の案内で、小沼周辺のフィールド散策をして、冬の大沼を楽しんできました。

## 28日

ふぁみりーでいみゅーじあむで、桜もち作りに挑戦しました。道明寺粉を使い、食紅で色付けし、あんこを包む。塩味のきいた大島桜の葉っぱでさらに包むと完成!火傷に注意しながら、道明寺粉を膨らませ、小さな手で懸命に包んでいる子どもたちの姿が印象的でした。自分で作った桜もちは、おいしかったかな?



## 4月の予定

1	金
2	土
3	日
4	月
5	火
6	水
7	木
8	金
9	土
10	日
11	月
12	火
13	水
14	木
15	金
16	土
17	日
18	月
19	火
20	水
21	木
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火
27	水
28	木
29	金 昭和の日
30	土

4月の休館日はありません。

### サボテンの水耕栽培!

只今、事務室のカウンターで、サボテンの水耕栽培に挑戦しています。ちょっと変わった育て方かもしれませんが、興味のある方は、その様子を見にご来館ください。



### 編集後記 ~tawagoto~

まだ風に冷たさを感じますが、日差しに温かさを感じるようになってきました。

ところで最近、当館のバードテーブルには、キジバトがひまわりの種を食べに来ます。窓越しに近づいても臆することなく、黙々と食べ続ける姿を観察していたら、彼らが頻りに瞬きをすることに気付きました。鳥が瞬きを知っている、どのように?を知らずにいた自分は、まだまだだなあと反省した。ありがとうキジバト!(やまだひさし)

Richard ~ピチャリ~  
第99号

平成28年3月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp